

令和3年度 妻ヶ丘中学校 よりよい学校づくりのためのアンケート結果

【徳 育】

* 評価は4段階(「4」は良好 「3」概ね良好 「2」一部課題が見られる 「1」課題がある)

No.	項目	評価結果	評価	自己評価(○成果 ●課題)	次年度に向けて(☆学校運営協議会◎改善策)
1	思いやりをもち、思いやりの心をもった行動をとっていますか。	<h3>1 おもいやりの心</h3>	2	<p>○月1回の「命の大切さ」を考える日の取組を生徒会長を中心に全校生徒でしっかり取り組むことができた。</p> <p>△「とてもそう思う」「そう思う」の割合は昨年度とほぼ変わっていない。</p> <p>●生徒の「とてもそう思う」の割合が昨年度からすると約2割程、低下している。意識の部分が気になる。校内での思いやりのない言動からトラブルに発展することが数件あった。指導の中で足りていないところを確認し、今後強化していきたい。</p> <p>●毎月、いじめアンケートを実施している。件数は増加していないが「0」になることがなく生徒指導部を中心に対応・対策を取っている。</p>	<p>☆◎コロナ禍の中、交流活動等が減り、友人関係づくりが難しくなっているように思われる。心の教育を計画的・継続的に実施し、関係づくりを支援したい。</p> <p>◎道徳科の授業実践・充実を図る。特に、思いやりに関する項目について重点的に取り組んでいく。</p> <p>◎生徒会の活動を継続的に実施し、内容をこれまで以上に充実させていく。</p>
2	学校のきまりを守り、よりよい学校生活を送っていますか。	<h3>2 きまりを守る</h3>	2	<p>○8～9割の生徒・保護者はきまりを守る程度守っていると回答している。</p> <p>●「交通ルールを守らない」と地域の方から問合せの電話が年間通して入る。定期指導に加え、その都度、指導を継続しているがなかなか指導が徹底しない状況がある。保護者との連携を図り対応しているが、命に係る事案であり、指導の強化をしていく必要がある。</p> <p>●職員は校内での生徒の態度や行動から約5割の生徒がきまりを守ることができていないと回答している。規範意識の低下が懸念される。また、校則を含め、見直し、検討していくべき内容もあり、検討していきたい。</p>	<p>☆交通安全指導の強化をお願いしたい。</p> <p>☆いい加減な大人・子どもが増えているのでとても残念。なんとか手立てを打ちたいが...</p> <p>◎交通安全指導に対しては、現地にて指導を行うことで、徹底した指導を行う。</p> <p>◎規範意識の向上に伴う指導を計画的に実践したい。</p>
3	あいさつを積極的にしていますか。	<h3>3 あいさつ</h3>	2	<p>△昨年度とあまり変わらない状況である。</p> <p>●職員の4割がまだまだと評価している。昨年度より若干良くなっている反面、改善の必要な生徒がいる。コロナ禍の中、あいさつしづらい部分も影響しているのかと思われる。</p>	<p>※大人の見方からすると絶対的によくなっているということではない。地域の方からよくなっていると自然に評価されるような状況になるとよいのではないかと。</p> <p>◎地域の方との交流機会が増え、顔見知りになれば自然にあいさつができるのではないかと考える。コロナ感染症の状況を見ながら、地域との交流の場を設定したい。</p>
4	ボランティアを積極的にしていますか。	<h3>4 ボランティア</h3>	3	<p>△昨年度とあまり変わらない。今夏は、3年生がボランティアで公民館清掃を行った。特に、全校で取り組む、地域のごみを拾いながら登校するトココクリーン作戦は生徒会役員を中心に計画的に実施した。</p> <p>●コロナ禍の中、思ったような活動ができていない状況がある。地域で取り組もうと計画をされたりしているが、思うように活動ができなかったとの回答があった。</p> <p>●全体的な意識を上げるためには、本来の活動ができる状況になることだと思われる。気持ちを意識させながらいつでも動ける状況を整えておく必要がある。</p>	<p>※地域の方から「ボランティア活動に参加していただき、とても助かりました。」と連絡があった。8月に3年生の希望者による公民館清掃に参加したものだと思われる。</p> <p>◎コロナ禍により、なかなか思うような活動ができなかった。今後の状況を見ながら、積極的な参加を呼びかけ、生徒の自主的な活動にしていきたい。</p> <p>◎各公民館長・民生児童委員さんと連携を図り、生徒の見守りの依頼や生徒の地域での活動を積極的に促していきたい。</p>
5	悩みや相談があるときに親や教師に話せていると思いますか。	<h3>5 悩みや相談</h3>	2	<p>○約7割程度の生徒・保護者が肯定的な回答をしている。</p> <p>●相談できないと回答している生徒が約3割、職員の回答では5割の生徒が相談できていないと回答している。教育相談の時間を有効に活用すること、常日頃の子どもの状況を考え、必要な生徒への悩み相談をしっかり実践していきたい。</p>	<p>◎気になる生徒の相談活動を計画的に繰り返し実施していく必要がある。</p> <p>◎組織的な対応・対策を講じていく。また、SC・SSW等の専門的な立場の方と連携を図り、生徒の内面的な悩み等の解消にあたりたい。</p> <p>◎職員間での情報交換を密にし、生徒が困ったときに相談しやすい状況をつくっていく。</p>